長野県軽井沢町議会

議会だより

No.114
平成29年
3月
会　議

軽井沢
KARUIZAWA

29年度予算審査
前年度比0.4％増

2
6　29年度の注目事業は？
8　代表質問・一般質問　町への提言!!
19　いじめは絶対ダメ!!
20　旧駅舎記念館　しなの鉄道改札へ
20　放課後デイサービス「にじいろポケット」始まる

表紙：子育て支援センター「るるぱる」にて
（表紙のことばは21ページ）

者福祉、配分

前年度比 0.4%増

一般会計 127億2000万円

企業・特別会計 93億898万円

予算常任委員会

全議員で3日間慎重に審査しました。

一般会計では大型公共施設事業が減る一方、道路新設費など、インフラ整備には重点的な配分が見られ、昨年度からほぼ横ばいの予算措置となりました。また、企業・特別会計への繰入れ金は依然として多く、今後も健全な財政運営に向け注視していく必要があります。

総合政策

西千穂 ドローンの使用の目的はなにか。また、2台購入する必要性はあるか。

一口メモ

企画課長 防災・観光・測量を想定。操作習得を円滑にし、多目的対応には2台必要。

遠山隆雄 多世代同居支援補助は町長が推進する施策だがその事業内容は。

副町長 3世代以上が同居する住宅購入や新築・リフォーム・引越費用の一部への補助を行い、安心して子どもや高齢者が暮らせる、思いやりの心を育てる家庭環境作りを支援したい。

（7ページ参照）

横須賀桃子 22世紀風土フォーラム啓発グッズとは。また、子どもプロジェクトの内容は。

都市デザイン室長 小学生に学用品を配布予定。プロジェクトの詳細は未定だが子どもたちにグランドデザインに触れてもらうため、教育委員会とも連携していく。

西千穂 風土フォーラムの軽井沢駅北口プロジェクトチームのデザイン画作成の予算は、今後議論を深めるためのものか、成果発表を見据えたものか。

企画課長 プロジェクトで議論した内容を絵として作成することでチーム内のイメージ共有ができ、成果発表にもスムーズに進める。

土屋好生 第90回日本学生（大学）氷上競技選手権大会補助の開催時期と開催種目は。

スポーツ推進係長 開催期間は30年1月4日から8日の5日間で、スピードスケート、ショートトラック、フィギュアの3部門となる。

観光

西千穂 写真パネル展の開催場所を限定している理由は。

観光経済課長 北関東自動車道が開通したので、その沿線からの誘客をはかるため、茨城県水戸市で初の開催。

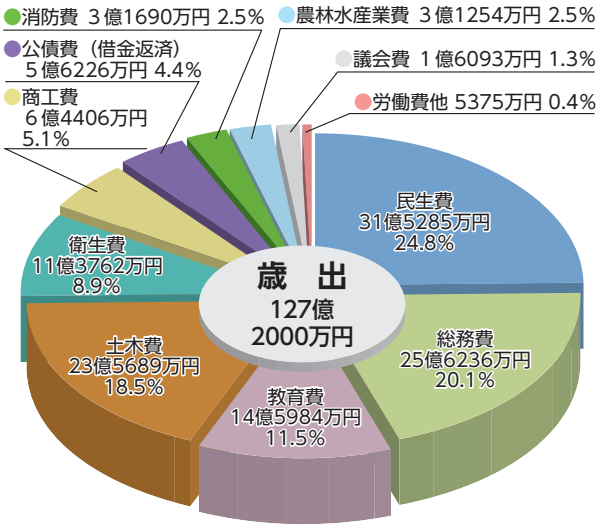
住民参加のまちづくりを

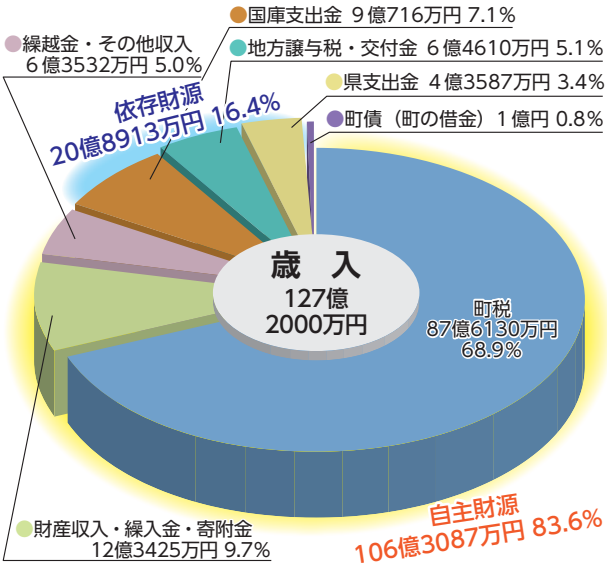
一口メモ 「ドローン」…地上からの遠隔操縦で空撮などできる小型無人航空機のことです。

29年度予算を審査

インフラ整備、高齢子育て支援に重点

一般会計予算の内訳





横須賀桃子 新宿アルタビジョンの観光宣伝映像の効果は。

観光経済課長 放映開始から5年経っており、検証する時期に来ている。インバウンド向けのものができれば、検討したい。

寺田和佳子 「銀座NAGANO」を活用して観光PRはできないのか。

観光経済課長 昨年、発地市庭関係で利用した。今後、商工会・観光協会と連携し考えていきたい。

柳澤信介 雲場池の整備工事の内容は。

観光経済課長 29年11月から30年4月のゴールデンウィーク前までを予定している。池の底に堆積した土を改良するのにあわせ、池の護岸整備を行う。

農林業

篠原公子 冬季野菜栽培実験委託とは。

観光経済課長 直売所の会員3名がハウスを持っており、貯木場の木材チップを使い発生する熱と二酸化炭素を利用した栽培実験を計画している。

川島さゆり 保温折衷（せっちゅう）苗代試験の目的は。（一口メモ）

観光経済課長 昭和17年に古宿の荻原さんが油紙を使い考案。『農林水産大臣賞』を受賞し、寒冷地における稲作栽培を飛躍的に進歩させた。軽井沢の農業の歴史を発地市庭から広く発信していきたい。

市村守 発地市庭は竣工から1年にも満たないが、修繕料の主な内容は。また、北側屋根の雪や氷が落下した場所への対応は。

一口メモ

「保温折衷苗代」…名誉町民の荻原豊次氏が開発。油紙で床面を覆うことで保温する寒冷地に適した稲の育苗法で、今は油紙に代わりポリエチレン・フイルムが使用されています。

発地市庭修繕料

300万円

発地市庭内の建物や段差解消など施設を修繕する経費です。

農林係長　修繕は主に敷地内の段差の改善などを予定している。氷が落下した場所については、雪が雨どいに堆積してしまう状況が見られるので、業者と相談し、今後対策を検討したい。

利根川泰三　有害鳥獣駆除報償金の内訳は。

観光経済課長　イノシシ　105頭
ウリ坊　15頭
ニホンジカ　520頭
ツキノワグマ　5頭
ハクビシン　10頭
を予定している。

交通

篠原公子　運転免許証自主返納者へのタクシー券給付とは。利用の決まりは。

防犯交通係長　返納時一回のみ1万円を支給。過去5年に返納した方も対象で、自宅から最寄りのバス停までの利用が可能。ただしその場合は運転経歴証明書（一口メモ）を持参する必要がある。すこやかお出かけ利用券との併用も可能。

道路

遠山隆雄　南原跨線橋などの消雪施設改修工事の内容は。

建設課長　現在の地下水利用の消雪装置を地中熱方式に交換する。

大浦洋介　昨年の決算時に道路舗装などのインフラ整備を優先するよう求めたが、予算へ反映されているのか。

財政課長　議会からの意見を受けて、町道の舗装・補修費を前年度予算と比較して2千万円増額した。

利根川泰三　29年度の除雪委託は何社か。

施設維持係長　通常除雪で19社。豪雪時には3社の除雪協力で22社。

上下水道

遠山隆雄　公共下水道は、一般会計からの繰り入れに頼っているようだが、料金改定等の検討は。

上下水道課長　下水道区域計画・財政計画を見直すなかで、34年頃の公営企業会計への移行にあわせ料金の改定も検討している。

29年度は9路線、総延長3530メートルの町道を舗装・補修する計画です。

佐藤敏明　ホテルの建設計画や別荘の新築が多く予定されているようだが、水の供給に問題はないか。

水道施設係長　大型施設には受水槽の設置を義務づけている。現在、ゴールデンウイークや夏場のピークで2万1千トンの総給水量となるが、2万3500トンの配水能力を持っているので心配はない。

防災

押金洋仁　防災行政無線デジタル化工事の内容は。また、特別交付税を受けての戸別受信機無償貸与は。

消防課長　29年度に子局は、小浅間、峠町、三ツ石公民館、追分2局、西保育園、馬取、ニュータウンの8局を予定している。また、再送信子局は鬼押・万座ハイウェー料金所を予定している。無償貸与は現時点では考えていない。

一口メモ　「運転経歴証明書」…運転免許証を自主的に返納した方に交付するもので、運転免許証に代わって本人確認ができる身分証明書のことです。

29年度予算審査

入りやすい「こども教育課」に

教育

篠原公子　組織改革で、こども教育課が、障がい児も含めて0歳から18歳までの窓口となると理解しているが。

教育長　限られた人材ではあるが、共通意識を持ってやっていきたい。

篠原公子　特別支援の指導的役割を担う人が必要であり、相談の核となる人を置いていただきたい。

町長　特別支援の指導主事は必要と考える。色々な問題が出てくるが、新しいこども教育課を運営しながら検討していきたい。

土屋浄　児童通学車両借上は何台か。

学校教育係長　東部小は、峠町地区で朝1台、夕方1台。西部小は、茂沢地区で朝1台、学年が違い帰る時間に差があるため夕方は2台である。

寺田和佳子　体育の授業に取り入れられているイマージョン教育の成果は。

一口メモ

教育長　個々の生徒の実態を見ながら、英語やジェスチャーで意思の疎通ができている。

西千穂　ICT教育に向けたタブレット購入の内容は。

学校教育係長　中学校で30年度から1人1台が理想だが、今年度は教職員操作習得用に10台購入する。

寺田和佳子　心の教室相談員にはどのような資格が必要か。

学校教育係長　中学校に籍を置くが、教育現場の経験が豊かな臨床心理士が望ましい。

利根川泰三　保存鉄道車両塗装他工事とは。

文化振興係長　東部小学校にあるアプト式の機関車と駅舎記念館前の草軽鉄道の車両の塗装を行う。

佐藤幹夫　三面馬頭観音はロータリーのどの辺りに移設するのか。

教育次長　ロータリーの警察派出所の裏手側へ移設し、説明看板も設置する。

保健・福祉

寺田和佳子　発達障がいの早期発見には乳幼児検診が効果的だが、その取り組みとその後の支援は。

NPO法人四季の発達支援の取り組みとどのように連携していくか。

健康推進係長　検診では言語聴覚士などさまざまな専門職が診ている。町内には療育できる機関がないため、町外の小児神経専門医へとつなげている。

福祉係長　4月よりNPO法人四季で放課後デイサービスと児童発達支援サービスが始まる。そこでもさまざまな相談支援をしていく。

NPO法人が運営する障がい児デイサービスへの運営費を補助します。（関連記事20ページ）

軽井沢病院

川島さゆり　院内保育所で預かれる子どもの年齢とその対象者は。

病院事務長　3歳になってむかえる年度末までで、対象者は医療に従事する職員の子ども。また、授乳は状況に合わせて行い、週に一度曜日をきめて夜間保育も実施する。

西千穂　軽井沢病院の外来収益が減った原因は。また、訪問看護の現状に余裕はあるのか。

病院事務長　内科医の退職や職員の産休により、回復病棟とリハビリテーションがあまり稼働できなかった。訪問看護は民間に2事業者あり多少は受け入れに余裕がある。

一口メモ

「イマージョン教育」…外国語で一般教科を学ぶことで自然に外国語を習得するという教育方法のことです。

注目事業は？

雲場池整備費

2億4000万円

雲場池の抜本的な水質浄化を目的に、浚せつ工事や水底の形状を改善するほか、護岸整備も行います。

防災行政無線デジタル化

9720万円

28年度に引き続き、町内各所の防災無線デジタル化工事を行います。

運転免許証自主返納者への補助

220万円

高齢等により運転免許証を返納した方に、運転経歴証明書の交付手数料を補助するほか、タクシー利用券（1万円分を1回限り）を給付します。

借宿バイパス線整備工事

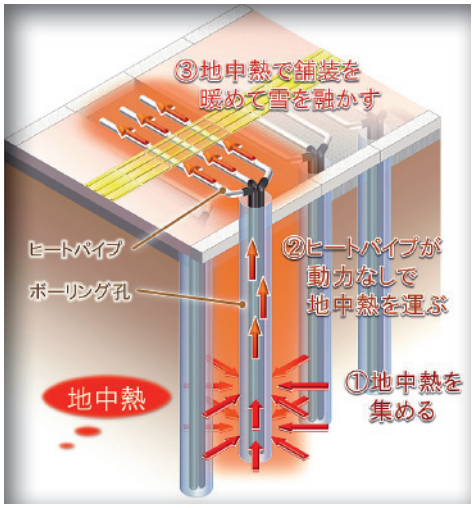
4億9750万円

29年度は、国道18号バイパスの横断部工事、国道18号バイパス接続部の消雪装置設置工事、木もれ陽の里入口信号機の東側町道改良工事などです。

地中熱利用消雪施設 一口メモ

1億7700万円

地中熱を利用した消雪施設を町内道路（南原跨線橋他）に設置します。



一口メモ

「地中熱利用消雪施設」…道路下のヒートパイプで、地下と舗装の温度差を動力として地中熱を運び、電力等の不要な雪を溶かす装置です。

広報広聴委員ピックアップ 29年度の

450万円 多世代同居支援補助

多世代同居支援補助の主な対象条件

1 町内に継続して３年以上住所を有する方
2 町内の住宅
3 交付後３年以上の継続多世代同居
4 住宅引渡しが29年４月１日以降の方
5 町税等を滞納していないこと
6 リフォームについては町内業者が施工する20万円以上のリフォーム
7 引越費用補助の場合、業者委託のみ

補助金額・限度額

1 補助対象経費の２分の１以内で一回のみ
2 住宅取得補助50万円
3 リフォーム補助50万円
4 引越補助５万円

※以前に住宅リフォーム補助を受けた方も対象になります。
(詳しい内容は町ホームページをご確認ください)

冬期野菜栽培実験 300万円

木材チップの発酵熱を利用した野菜の冬期温室栽培実験を行います。

個人番号事務関連OA機器 1億7770万円

30年度より使用する個人番号制度の事務に関わるOA機器購入費です。(情報推進費（OA関連）全体で７億1239万円)

道路情報提供ライブカメラ 810万円

道路（農協通り）の交通状況などをインターネットでリアルタイムに確認できるよう、カメラを設置します。

軽井沢ブルー・プラーク銘板作成 88万円

一口メモ

町内の文化財に指定されている建物などに設置する銘板作成費（30枚分）です。

旧近衛文麿別荘（市村記念館）耐震補強工事 2300万円

鉄骨や基礎の鉄筋コンクリート打増しによる補強工事のほか、内外壁や腰板の塗装などを行います。

一口メモ

「ブルー・プラーク」…著名な人物や歴史的建物について史実を伝えるために建物の外壁に取り付ける、イギリス発祥の銘板のことです。

代表質問 一般質問

町への提言!!

中学新校舎を最初に巣立つ卒業生による合唱

1日目 2月27日

代表質問

交渉会派「考」・浅間
代表　市村　守　（9ページ）

- 借宿バイパスの進捗状況は
- 都市政策への取り組みは
- 産業政策への取り組みは

一般質問

佐藤 敏明　（10ページ）

- 町内のWi-Fi環境整備への取り組みは
- 遠隔式水道メーターの継続設置は
- 「しなの鉄道軽井沢駅テーマパーク構想」への町の対応は

利根川 泰三　（11ページ）

- 湯川ふるさと公園のキャンピングカーによる利用は
- （旧）軽井沢駅舎記念館の活用は
- 降雪時におけるバス停の現状は

横須賀 桃子　（12ページ）

- パーキングパーミットの周知を
- 子どもと町づくりを考える新プロジェクトは
- 学校と地域住民の協働によるこぶし教育を

押金 洋仁　（13ページ）

- 住民ニーズを意識した広報紙を
- 災害時の別荘客や外国人客への情報周知は

川島 さゆり　（14ページ）

- 手話言語普及への町の取り組みは
- 新生児の自動聴性脳幹反応検査の助成を
- 人工内耳装用者への支援を

2日目 2月28日

土屋　浄　（15ページ）

- 木材チップ利用の温室栽培で冬場の農業振興を
- 学校給食費の全面無償化を

寺田　和佳子　（16ページ）

- 「自然を愛する」を合言葉にしたこぶし教育と現実問題との関連づけは

土屋 好生　（17ページ）

- 地域と連携し現状の資源を有効に生かす6次産業を
- 22世紀風土フォーラムの取り組みは

西　千穂　（18ページ）

- 民生委員への個人情報提供の方針は

一問一答で町側答弁も含め一時間以内となっています。
内容に関しては要約して掲載してあります。
議事録は、議会ホームページで閲覧できます。

軽井沢町議会 検索

一口メモ

「①代表質問②一般質問とは」…①会派を代表して町政に対し質問することです。
②本会議で議員が町政全般に関する質問や提言をすることです。

交渉会派「考」・浅間
代表 市　村　　守

借宿バイパスの進捗状況は

町　長

30年末の開通を目指し整備を進めている

問 借宿バイパスは30年の整備完了を目指して計画どおり進んでいるか。国への要望状況は。

町長 順調に進捗しており、30年末の開通に向けて進んでいる。また国等に、交付金の支援要望も行っている。

開通でスムーズな通勤を

都市政策への取り組みは

問 地区公民館にも高齢者、障がい者に配慮したバリアフリー化を。

町長 公民館等のバリアフリー化があまり進んでいない現状である。さまざまな機会を捉えて改善していきたい。

問 民間が設置する燃料電池車用水素ガスステーションへの助成はどう考えているか。

一口メモ

町長 環境にやさしいまちづくりの観点からステーション整備に何らかの協力はしたい。

問 国の空き家対策特別措置法と当町の要綱との整合性は。また要綱でなく条例化は。

町長 要綱を適切に運用し、必要に応じて特別措置法も有効活用し、安心安全な生活環境の確保に取り組む。要綱を条例化する考えはないが、的確な対応ができるよう取り組みたい。

産業政策への取り組みは

問 今後の会議都市推進策は。

町長 町の紹介等に可能な限りリゾート都市軽井沢が露出することが大事。会議都市推進協議会等との連携の強化、PR活動及び情報発信を行っていきたい。

問 オリンピック、パラリンピック等の練習場誘致に万全な対策が取れているか。

冬も品物がいっぱいほしい

町長 施設面は問題なく運営されてる。宿泊面も旅館組合、観光協会等と相談し、選手がベストな体調管理が行える環境を提供したい。

問 発地市庭冬場対策として、ハウス等施設への助成や大学、企業等の研究機関の参入を。

町長 来年度、冬季野菜栽培実験委託を予定している。木材チップの発酵熱を利用したハウスでの野菜栽培や品種、生産方法の検討などによって、生産グループや法人設立支援の具体的なものが見えてくると考える。

一口メモ

「燃料電池車用水素ガスステーション」…燃料電池車に使用する燃料の水素を補充する場所のことです。

町内のWi-Fi環境整備への取り組みは

佐藤敏明

企画課長

「Japan.Free Wi-Fi」の普及を検討中である

問 外国人旅行者宿泊数が増加しWi-Fi整備は急務と考える。日本政府観光局ホームページの訪日外国人旅行者向け無料公衆無線LANスポット等を紹介するJapan.Free Wi-Fi への当町参加は。

企画課長 Wi-Fiは、中軽駅、軽井沢駅、観光会館案内所、観光振興センター、風越公園、発地市庭の6カ所設置し、民間の宿泊施設等は108カ所把握している。現在あるものを最善の方法で取り組む。

問 Wi-Fiを整備しなければQRコードを設置しても外国の方は見られないのでは。

企画課長 承知しているが対応できていない。

問 町でWi-Fiを設置しないとサービス向上しないのでは。

企画課長 民間は民間で設置しIDを統一化できればと考える。

Japan. Free Wi-Fi

エリア拡大で外国人旅行者の利便性向上を

遠隔式水道メーターの継続設置は

問 遠隔式メーター導入経過は。

上下水道課長 検針の見やすさから23年度以降遠隔式とした。

問 巨費を投じておきながら直読式に戻す理由は。

上下水道課長 口径13ミリメートルのメーターの比較で、直読式は約6千円、遠隔式は1万7千円で約2・8倍となる。費用が安く故障も少ない直読式にする。

問 マンション等が増え直読式に戻すとサービス低下するのでは。

上下水道課長 マンション等は、今後も遠隔式とする。

見やすい遠隔式メーター設置を

「しなの鉄道軽井沢駅テーマパーク構想」への町の対応は

問 しなの鉄道が希望している旧駅舎記念館使用に対する町の考えは。

企画課長 しなの鉄道軽井沢駅舎を長野県の東玄関口とし、「ろくもん」の始発及び終着駅に改修し、旧駅舎記念館の活用を図りたいとの話があり、協力していく方針で貸しつけ条件等協議を進めている。

一口メモ

「Japan.Free Wi-Fi」…主に訪日外国人向けの無料Wi-Fiで、日本各地で提供されている無料Wi-Fiにアクセスできます。

利根川　泰三

湯川ふるさと公園のキャンピングカーによる利用は

建設課長

そのような車両があるという事は認識しているが問題はないと思っている

問　夏場のキャンピングカー等による公園の利用が、見受けられるが認識されているか。

建設課長　認識している。苦情は受けていない。キャンピングカーの乗り入れについては問題ないと思っている。

問　占有による一般利用者とのトラブルや苦情はあったか。

建設課長　キャンプ行為とか花火、騒音等の苦情はない。

公園利用看板

問　公園や公共施設等の見回りは。

建設課長　巡回は行っていない。

問　看板はあるが、ほかの方法での告知は。

建設課長　旅行雑誌や観光ガイドブックに、公園利用の制限事項を追記し、マナー向上を図りたい。

一口メモ　(旧)軽井沢駅舎記念館の活用は

問　12月28日の信毎に(旧)軽井沢駅舎記念館の活用について町は協力するとあったが。

企画課長　現状では事前協議の段階。具体的な協議はしていない。

問　駅前派出所のさわやかハット1階への移転検討はどのような進展があったか。

総務課長　警察との協議で難しいと言われた。交番の移転については県・警察署の意向もあり簡単には解決しない。

問　駅東側の線路跡地への民間企業の進出の懸念は。

企画課長　しなの鉄道と連携を図りながら、跡地の活用も含めた検討をしていきたい。

降雪時におけるバス停の現状は

問　降雪時のバス停の除雪体制はどのようになっているか。

生活環境課長　町及びバス運行会社とも、特別な除雪体制は設けていない。

問　バス停の除雪の状態を把握しているか。

生活環境課長　乗降場所が除雪されず、不便となっている状況のすべては把握していない。

問　冬場の除雪対策等を実施するのも「おもてなしの心」では。

生活環境課長　除雪などを含め、住民及び町が協働して町全体で大きな「おもてなしの心」につなげたい。

雪でバスに乗れない

一口メモ　「(旧)軽井沢駅舎記念館」…新幹線開業により取り壊された旧駅舎を保存するため明治43年当時の姿のまま再現したものです。

パーキング・パーミットの周知を

横須賀　桃子

保健福祉課長

適正利用の推進と共に周知を進めていく

問　県では昨年4月より障がい者や高齢者、そして妊産婦など歩行が困難な方のために障がい者等用駐車区画の利用証パーキングパーミットを交付しているが、周知の進み具合は。

一口メモ

保健福祉課長　広報紙での周知、障がい者福祉のしおりへの掲載、さらに協力施設の町内4施設においては制度の周知だけではなく、不適正利用への注意喚起をお願いしている。

問　協力施設の登録を増やすための周知は。また町側から施設に出向き、直接協力を促すなどの考えは。

保健福祉課長　広報紙で周知する。

問　パーミットの適正利用のため、期限切れ利用証を回収するなどの対策は協議されたか。

保健福祉課長　回収する予定はないが、今後問題があれば協議する。

ゆずりあいの心で広がる「ノーマライゼーション」

子どもと町づくりを考える新プロジェクトは

問　22世紀風土フォーラム基本会議での意見や提案などをどのように具現化するのか。

企画課長　町への提言につなげるようプロジェクトチームを編成し、長い将来を見据えた町づくりに反映させたい。

問　会議内容をホームページ以外でも周知する考えはあるか。

企画課長　公開会議を傍聴に来てほしい。

問　貴重な意見や提案、会議内容についての発表の場を設けては。

町長　まだすべて発信する段階ではなく、傍聴者の意見などを伺いたいと考えている。

問　住民参画が目的の会議なので、周知方法を工夫するべきでは。

町長　すべて周知することは難しいが、必要のある内容は発信する。

問　子どもと町づくりを考える新プロジェクトを始めるが、その他の新たな取り組みは。

企画課長　地区に出向いてフォーラムの周知や意見交換を行いたい。

学校と地域住民の協働によるこぶし教育を

問　地域住民と共にこぶし教育の拡充を。

教育長　小中学校連携の中で進めて行きたい。

一口メモ

「パーキング・パーミット」…障がい者・高齢者・妊産婦など歩行が困難な方が障がい者等用駐車区画を適正に利用するために交付する「利用証」のことです。

押金洋仁

住民ニーズを意識した広報紙を

総務課長

工夫すべき部分はあるが、読者に関係のある記事があればそこは目を通すと思う

問 道へ張り出した枝や地境に植えられた樹木が大きく伸長したときに周囲に及ぼす影響、世代交代や相続がうまく推移せず、空き家になりつつある物件など、別荘所有者の理解がなければ解決できない課題の情報共有のため、広報紙「風のおたより　軽井沢」に掲載を検討しては。

町長 負の材料よりは、別荘ライフへの期待を持ってもらうような情報を中心として紙面をまとめたい。

問 地域の特性を生かしたまちづくりを住民と行政が協働で取り組む時代にあって、自治体広報はお知らせ型から住民ニーズを意識した対話型への変革が求められる。読者の視線をとらえる見出しや専門的な行政用語を避けるなどの工夫が必要では。

総務課長 表題等について工夫すべき部分は多々ある。ただ自分に関係のある記事があれば、そこは目を通すというのが本来の形である。

災害時の別荘客や外国人客への情報周知は

問 防災行政無線の放送内容を受信するメールの登録者数はどのくらいか。

企画課長 約1万弱の登録がある。

問 メールの登録方法、災害発生時における情報の入り方、とるべき行動、最寄りの避難所等の情報をコンパクトにまとめて、別荘所有者に配布できないか。

消防課長 土砂災害の警戒区域の別荘所有者にはマップを配り、その中で避難の方法等の情報を入れている。だがどんなにこちらで広報しても、受け手の側がそれを活用しなければどうしようもない。

問 外国人旅行者への情報伝達は。

消防課長 有効な情報伝達方法は現在ない。デジタルサイネージを活用した大型スクリーンへの多言語文字による ものや防災アプリを活用したもの等があるが、課題もある。

伝え方を工夫したい、行政も議会も

一口メモ

「デジタルサイネージ」…屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で電子的な表示機器を使って情報を発信するシステムのことです。

手話言語普及への町の取り組みは

川島 さゆり

保健福祉課長

県条例制定まもないので今後取り組んでいく

問 県条例では災害時に使う手話を取得後、認定書を出し「災害時支え合いマップ」の人材として活用するとあるが。

保健福祉課長 県ではまだ検討中。

問 県条例では災害時に県ホームページに「動画で手話を使い避難指示を出す。」となっているが当町ではどうか。また県ホームページとのリンクは。

保健福祉課長 県が全県下に向け発信すれば周知していく。リンクは研究する。

問 県条例では、手話を言語として認め、小中学校においても教職員・児童・生徒に県が作成する学習資料で学ぶとあるが。

教育長 この1・2月で希望する教職員に対して県の研修があったが、教職員の参加はできなかった。今後、機会を捉えて推進していく。すでに小中学校では一部教育に取り入れているが、今後人権活動教育の一環として位置付け、教職員や各学年での学習として検討していく。

問 以前に質問した災害用バンダナ・ヘルプカードのその後は。

保健福祉課長 災害用バンダナは29年度予算に計上した。ヘルプカードは、持っている方もいるが全員ではないため今後導入に向け協議していく。

新生児の自動聴性脳幹反応検査の助成を

問 自動聴性脳幹反応検査の助成はできないか。

保健福祉課長 出産祝い金や新生児聴覚検査等出産後もさまざまな費用を助成している。

人工内耳装用者への支援を

一口メモ

問 人工内耳手術は保険適用や高額医療費などで受け易くなったが、スピーチプロセッサーは5年から10年の買い換え時、自己負担となり80万円以上かかる。県は、町が助成すれば、国2分の1、県4分の1、（町4分の1）を補助するとあるがどうか。

保健福祉課長 助成実施の方向で検討していく。

手話での会話は楽しい

一口メモ

「人工内耳」…聴覚機能障害で全く聞こえなくなった人に聞こえを取り戻すための医療で、機器を通じて会話が行えるようにするものです。

土屋　浄

木材チップ利用の温室栽培で冬場の農業振興を

町長

どう応援するか考える

問　農家は冬場の野菜作りを切望している。発地市庭近くで㈱柳沢農園が木材チップの発酵熱を利用した温室栽培を手掛けているがご存知か。

一口メモ

観光経済課長　視察した。町貯木場のチップ再利用になる。45℃を超える発酵熱だった。あわせて炭酸ガスが大気中の4～5倍と大量に発生して光合成が活発となり、野菜の生育が早い。施肥や農薬散布もなく栽培コストはかなり抑えられるのでは。冬場の野菜作りの有力な方法として注目している。

問　軽井沢発の保温折衷苗代は寒冷地の稲作に革命をもたらした。木材チップの発酵熱利用の野菜栽培は軽井沢の冬の農業に大きな変化をもたらすかもしれない。町がこの新しい農法の完成普及に生産者と一緒になって取り組んではどうか。

観光経済課長　新年度事業として生産者グループづくり、法人設立支援（予算40万円）を進めたい。モデルハウス設置や初期投資への補助も検討したい。

町長　どのような形で応援していくか考えて進めていきたい。

問　消費者の最大の関心は美味しさだが。

観光経済課長　私もミズナとコマツナを食べてみたがハウス物とは思えないみずみずしさ、柔らかさ、なおかつ野菜がしっかりしている。

学校給食費の全面無償化を

問　学校給食は教育の重要な一環だ。本来国が無償とすべきものだ。しかし国はやらないので自治体負担で無償化が進んでいる。わが町の現況は。

教育次長　父母負担の給食費は食材費で年間総額7886万円。小学生は年間5万3300円、中学校は6万3440円だ。

問　必要な財源は8千万円足らず。その気になればやれるはずだが。

教育長　今後検討していかねばと考える。

柳沢農園のハウス内に育つ野菜（2月撮影）

一口メモ　「木材チップの発酵熱」…木材チップの発酵により発生した二酸化炭素で発熱することです。

「自然を愛する」を合言葉にした こぶし教育と現実問題との関連づけは

寺田　和佳子

教育長

各学校どのような取り組みができるか考えていく

問　最近、ホテル建設による木々の伐採・農業人口の減少による農地から住宅地への転用・太陽光発電施設への土地利用で自然環境の変化が起きている。この現状をどのようにこぶし教育につなげているのか。

教育長　各校、自然環境の現状を把握したなかで何が提言できるか考えていく。

問　当町のこぶし教育の理念と似たものが近隣にもある。町の独自性はどこにあるか。

教育長　こぶし教育の根底には「軽井沢の心」がある。これは「人・もの・環境への思いやり」がテーマで30年前に策定された。これが家庭・学校などさまざまな場所で培われるよう進めている。

問　こぶし教育を理念に据えた軽井沢学は、さまざまな教科で実施されている。教員が授業で扱う教材を研究するための時間の確保は。

教育長　各校共通の内容を決め、教員・生徒向けに資料配布する。これで教員の負担軽減にもつながると思う。

問　義務教育では、転勤直後担任を持たされるのを始め、一般的に教員の負担は大きい。これについて町はどう考えるか。

教育長　新任職員には各学校長が負担軽減の配慮をしている。また、町費で臨時講師6名、特別教育支援員5名、低学年補助教員3名など計17名を採用し、さまざまな方法で軽減に努めている。

問　教員の負担軽減のため、軽井沢学を含めた授業への講師登用は。

教育長　5年前から教育支援ボランティアを募集し、小学校では32団体が登録済みである。必要に応じて各学校が依頼している。

問　2020年軽井沢にユニークな教育機関が開校する。町はどのように受け止めているか。

町長　軽井沢町の教育にとって追い風にしていきたい。

これで軽井沢を学ぼう

一口メモ

「教育支援ボランティア」…小・中学校にて学校行事などを支援するボランティアのことです。協力していただけるボランティアの方を募集しています。
お問合わせは こども教育課：45－8672まで

土屋好生

地域と連携し現状の資源を有効に生かす６次産業を

観光経済課長

各業種の皆さんとコミュニケーションを図りながら探っていく

問 ６次産業の課題に農家と地域の連携不足が挙げられ、地域資源を幅広く活用し差別化された商品をつくり、ブランド化させていく取り組みが必要と考えるが。

観光経済課長 農林係が観光商工係と連携し６次産業の方向性を探っていく。各業種の皆さんとコミュニケーションを図って進める。

問 ブランディングやプロデュースにおいて町のことを理解しつつ、実践で成果を上げている専門家のノウハウが必要と考えるが。

一口メモ

観光経済課長 ６次産業は町の方向性でもある。生産、加工、商品化の知識を持った人材のアドバイス・意見と軽井沢22世紀風土フォーラムも絡め進めたい。

問 農家とバイヤーのマッチングを行う展示会の開催は、評価されたものは流通が広がり、販売拡大にもつながる。発地市庭にマッチング機能を加え、強化する考えは。

観光経済課長 イベントスペースを利用し展示会を指定管理者とも打ち合わせできる機会を検討したい。

22世紀風土フォーラムの取り組みは

問 22世紀風土フォーラムはどのような事業を実施しようとしているのか、また実施している事業は。

企画課長 住民が主体となってまちづくりを進めていく風土自治の実現が一番の目標。基本会議をこれまで５回開催した。

問 住民からの意見、提案を風土フォーラムでまとめた場合、実際に町政への反映は。

企画課長 町の理事者が決定するということになる。

問 風土フォーラムのプロジェクトチームにおいて、軽井沢駅北口ステーションフロント構想があるが内容は。

企画課長 一部の事業者の開発計画と絡んでいて、現状では非公開で行っている。北口ステーションフロント全体の流れを近々、公表する予定で進めている。

６次産業の拠点を目指して

一口メモ

「ブランディング」…ブランドに対する共感や信頼などの価値を高めていく企業と組織の経営戦略のことです。

民生委員への個人情報提供の方針は

西　千穂

保健福祉課長

同意を得られた方の情報提供をしている

問　国や県は民生委員法第15条により、同意不要の個人情報提供の在り方を示しているが。

保健福祉課長　国は24年、県は23年に発表。25年改正の災害対策基本法で個人情報関係の記述があり、最新の方法に従っている。

問　「軽井沢町避難行動要支援者台帳」（一口メモ）での民生委員の役割は。

保健福祉課長　町からの依頼で、台帳登録希望者宅へ訪問し、必要な情報を聞き取り、町へ報告。また台帳情報を用いて日ごろの見守り活動を行う。

問　民生委員の周知については。

保健福祉課長　改選期など委員が変更の際に、広報かるいざわ等で周知。町・地区行事で民生委員専用ジャンパー等を着用して参加。

問　町ホームページで民生委員を説明するページがないが。

保健福祉課長　地区と氏名はあるが、説明を含めて周知する。

問　民生委員は児童委員でもある。教育機関との連携は。

保健福祉課長　学校行事への参加。学校警察PTA連絡協議会、学校との懇談会、支部懇談会、いずれも年に一回開催。

問　日常の把握のためには十分といえない開催回数である。民生委員が学校評議員を兼ねている自治体もあるが。

保健福祉課長　民生委員のなり手不足があり、負担を減らしたいという考え方もある。

教育長　評議員の選出については各学校長の裁量による。学校との懇談会のなかで個人を特定されない状態での情報交換をしている。

問　民生委員は対個人であるが、答弁中の個人を特定されないように、とはどういうことか。

教育長　個人情報保護法に従っている。

問　信州型コミュニティスクールで民生委員に活躍していただくのは。

教育長　好ましい。検討する。

個人情報は取り扱いがとても難しい

一口メモ

「避難行動要支援者台帳」…災害などの緊急時に支援を希望される方を登録する台帳です。希望者は 保健福祉課44－3333まで。

いじめは絶対ダメ!!

3月 議案審議

条例制定 いじめ防止条例

いじめの把握は

問 条例制定にあたりいじめの事実はあったのか。

答 28年度は県の条例によりいじめの定義が明確となったため、現在までに30件ほどある。

問 いじめを把握する具体的な方法は。

答 児童生徒の生活記録から、SOSをキャッチするよう努めている。いじめに対する危機管理マニュアルを活用。

条例制定の経緯は

問 25年度に議会で条例を議論した経緯があったが、制定には至らなかった。今回、教育委員会と学校がどのように関わって条例制定に至ったのか。

答 学校等においては、校長会、教頭会を通じて条例内容を検討してきた。いじめ対策が推進できるということで関係者の総意も得られ制定することになった。

条例の周知は

問 いじめは絶対に許さないという強い思いを児童・生徒・保護者に伝えるべきだと思うが。

答 PTA総会、職員会、小中連携会議などで周知を進める。

地域社会の関わりは

問 条例の中に地域社会の関わりが書かれていないが。

答 いじめ対策には社会全体の協力が必要だが、児童生徒、保護者が協力することが第一であると考える。

キャッププログラム研修は

問 キャッププログラム研修に取り組むべきでは。

一口メモ

答 上の立場からではなく自分の身に置き換えて考えてもらうためにもキャッププログラム研修も含め総合的に考えていく。

いじめは
絶対にゆるさない！

討論

付託された総務常任委員会で原案可決すべきものと報告されましたが本会議では、討論になりました。

《反対討論》

土屋浄

今の学校の内情から、この条例を制定したからといって、いじめ防止が進むとは思わない。

《賛成討論》

篠原公子

いじめは断じて許さないという精神のもとにつくられたのが、いじめ防止条例だと思う。すべての人にその精神を認識してもらい、しっかりと防止条例を周知してもらいたい。

結果

【賛成多数で原案可決】

（p23参照）

一口メモ

「キャッププログラム」…子どもが、いじめ・虐待・性暴力などから自分の心とからだを守るための予防教育プログラムのことです。教職員・保護者・子どもワークショップがあります。

旧駅舎記念館 しなの鉄道改札へ

総務 常任委員会

なぜ今、行政財産から普通財産に変更するのか

問 現状のように行政財産のまま条例を作って指定管理という選択肢はなかったのか。

企画課長 行政財産では利用制限がある。普通財産にし、自由に使える設定にして、貸し付けるほうが価値がある。

一口メモ

問 普通財産だと議決なしで無償貸し付けが可能になり、監視の目が届かなくなる危険性が増すのでは。

財政課長 自治法での制約もあり総合的判断をする。

貴賓室は誰のものか

公共的団体の定義はなにか

問 町の考える公共的団体の定義とは。

財政課長 公益的事業を行う者で総合的に判断している。

問 貴賓室をろくもん乗客限定の利用とするのは公益事業になるのか。

財政課長 しなの鉄道自体が公益事業を実施している事業者という判断である。

問 貴賓室は誰でも利用可能にすべきだが。

総務課長 誰でも利用できるよう交渉していく。

問 無償でなく適正時価での貸与は。

企画課長 駅舎を復元した際、国の補助があり、無償で貸し出さないと補助金返還が生じる。町の要望もくんでもらい無償がベストと考えている。

児童発達支援 放課後等デイサービス 「にじいろポケット」始まる

社会 常任委員会

4月から支援が必要な子どもに療育場所ができる！

問 NPO法人四季が行う児童発達支援・放課後等デイサービスの内容は。

保健福祉課長 未就学児のための発達支援と就学児のための放課後デイが開始され、個々に合わせた支援プログラムが可能になる。内容は表のとおりである。

NPO法人四季「にじいろポケット」児童発達支援・放課後等デイサービス内容

	未就学児（児童発達支援）	小1から18歳（放課後デイサービス）
開所時間	月曜から金曜 9：30から13：30	月曜から金曜 放課後から18時 第2・4土曜日9時から16時
	（長期休暇・学校休業日は9時から16時）※未就学児は要相談	

一口メモ

「行政財産とは」…直接公の目的に供する役場庁舎や道路など、原則、貸付・売り払い・譲与等ができない公有財産のことです。

「普通財産とは」…行政財産以外の一切の公有財産のことです。

議会活性化特別委員会

（27年5月～29年3月）

開かれた議会・信頼される議会をめざして!!

議会改革を後戻りさせないため引き続き取り組みを

議会改革に伴う調査・研究

議会活性化委員会は、27年5月より7人のメンバーで、①から⑨について活発な議論（17回）を重ねてきました。新年度も引き続き研究するよう申し送りました。

①議会ICT化の充実
・携帯端末機器類の使用を委員会のみ可能とし、本会議ライブ中継は今後の課題とした。

②議員相互の自由討議
・議員間で活発な議論を求め、推進した。

③議会からの政策提言
・2つの常任委員会において、【軽井沢駅前再開発】と【障がい児福祉】の政策を提言した。

④広報広聴の充実
・各種団体と7回の議員懇談会を実施し、課題を研究して議論につなげた。

⑤予算・決算委員会の充実
・審査を連続性のあるものとし、予算要望につなげる研究をした。

⑥議員力・議会力向上を図る取り組み
・さまざまな議員研修・講演会に出席し、議員力の向上に努めた。

⑦議会基本条例の検証・見なおし

⑧会議規則および申し合わせ事項の見なおし

⑨政策サポーター（一口メモ）・議会だよりモニター制度導入の検討

議員懇談会

～ひとつのテーマをさらに深く～

農業従事者５団体

28年12月20日（火）　午前10時から
役場第２委員会室

【懇談の目的】
当町における農業の現状と今後の課題に耳を傾け、農業振興や６次産業を一緒に考える。

【参加者】
農業従事者　19名
町議会議員　13名

懇談会で出された意見

＊発地市庭がオープンし出荷量も増えたが、冬期の生産量は減少するという課題がある。

＊農家の経営安定と生産拡大を図るため、ビニールハウス設置費用の一部を補助するなどの支援策を考えて欲しい。

＊冬場対策に、発地市庭の加工室をもっと住民が活用できるように考えてほしい。

＊降水量が多く晴天率の悪い軽井沢では、排水対策が必須である。なんらかの支援ができないか。

考察　今後の軽井沢農業の発展のため、引き続き農業振興と6次産業につながる「軽井沢ブランド」の確立に向けさまざまな分野と連携を図っていきたい。

表紙のことば

農協通りの子育て支援センター「るるぱる」。

この日の行事は「ころころペットづくり」でした。23組ほどの親子が参加して、テープの太芯や紙ヒモでおもちゃづくりを楽しみました。といっても製作係はやっぱりお母さんですね。子どもたちはお膝の上に乗って色をつけたり、おもちゃを引っ張ってあったかい床暖が入った部屋を元気に走り回ったり。

議会からも愛称の募集を提案していましたが、利用する方がこれからもっと増えてほしい施設ですね。

（取材・写真撮影／押金洋仁）

一口メモ
「政策サポーター」…住民に開かれた議会にするために、議会と協働で政策づくりに取り組んでくれる専門家や住民のことです。

旧軽井沢に区民待望のトイレ完成

補正予算

問 旧軽井沢公衆トイレ設計で今回の設計案が採用された理由は。また、案内表示をピクトグラム（一口メモ）などで、分かりやすくしては。

答 女子トイレにはパウダールームを設け、浅間石を使い旧軽井沢にふさわしいデザインになった。表示方法は検討する。

新クリーンセンター分担金は

問 分担金82万1千円の減額について、実際に減額になる1003万6千円と面替区の振興基金として支払う921万5千円を相殺せず、それぞれ分けて表記できないか。

答 分担金という枠の中での支払いのためこのような形になっているが、今後は検討する。

問 負担することになった経緯は。

答 新クリーンセンターに隣接する面替区の意向を踏まえて、地域の振興基金とすることで7千万円を支払うことになり、御代田町単独で3500万円を負担し、残りを御代田町を含めた佐久市、軽井沢町、立科町で負担することとなった。

さわやか軽井沢ふるさと寄付金は

問 さわやか軽井沢ふるさと寄付金のISAK指定分の件数と金額は。

答 375件でおよそ3億2千万円である。

外灯新設・交換工事は

問 外灯新設・交換工事の実績は。

答 28年度453灯で蛍光灯からLEDへの交換が終了。総数は2820灯。水銀灯、ナトリウム灯は29年度以降実施する。

陳情

「共謀罪」創設に反対する陳情書

陳情者 ピースアクション佐久
代表 望月 清泰

趣旨

政府は「テロ等組織犯罪準備罪」という口実で「共謀罪」を創設しようとしており、テロと関係ない犯罪も対象としている。すでに13本の国際条約を締結し、国内法も整備されており、改めて「共謀罪」を創設することは安倍政権による「戦争する国」づくりをさらに進めるためで、現代版「治安維持法」ともいえる。よって共謀罪を創設しないよう意見書を提出すべきである。

討論

反対討論

川島さゆり 2020年オリンピック・パラリンピックをテロの標的にしないという強い決意で臨み、しっかり時間をかけ国会内で議論し国内法を整備すべき。締約国会議に参加して国際情報を得るべきである。「治安維持法」「戦争する国」づくりなど法律に関係ない文言は容認できない。

賛成討論

土屋浄 一般市民が組織的犯罪集団でなくても性格が一変すれば該当となり、判断は捜査機関が決めるところに拡大解釈の危険性がある。国民の思想や内心まで処罰の対象となっており、憲法が保障する思想や自由を脅かす危険性があり違憲立法である。

本会議結果

賛成少数で不採択

（詳細はP23）

一口メモ

「ピクトグラム」…「絵文字」や「絵単語」などと呼ばれ、何らかの情報や注意を示すための視覚記号のことです。

一目でわかる審議結果
～議決結果一覧表～

●全会一致の議案

議案第４号	（旧）軽井沢駅舎記念館に関する条例を廃止する等の条例の制定
議案第５号	軽井沢町介護保険条例の一部改正
議案第６号	軽井沢中学校改築基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止
議案第７号 ～ 議案第14号	平成28年度軽井沢町一般会計補正予算（第８号） 平成28年度軽井沢町水道事業会計補正予算（第１号）
議案第15号 ～ 議案第25号	平成29年度軽井沢町一般会計予算 平成29年度軽井沢町国民健康保険軽井沢病院事業会計補正予算（第１号）
一口メモ 発委第１号	軽井沢町議会委員会条例の一部改正
発委第２号	軽井沢町議会会議規則の一部改正

●賛否の分かれた議案

議　案	1 寺田和佳子	2 西千穂	3 押金洋仁	4 利根川泰三	5 柳澤信介	6 遠山隆雄	7 横須賀桃子	8 川島さゆり	9 土屋好生	10 佐藤幹夫	11 市村守	12 佐藤敏明	13 大浦洋介	14 土屋浄	15 篠原公子	議決結果（賛成：反対）
議案第３号 軽井沢町いじめ防止等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決 （14：１）
陳情第１号 「共謀罪」創設に反対する陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	不採択 （１：14）

（○は賛成、×は反対、議長は議決には加わりません）

議会だよりモニターを若干名募集します

議会だよりを一緒につくりませんか

モニターをお願いする方には、

年４回のアンケートへの回答　議会だよりを編集する委員との会議（懇談）への出席

などをお願いする予定です。（任期は１年間です）
皆さまのご意見をお聞かせください。

問い合わせ、申し込みは議会事務局まで　電話　45－8910

「議会とまちづくりを語る会」のお知らせ

５月15日（月）	浅間台公民館	午後７時から
５月17日（水）	千ヶ滝西区公民館	午後７時から
５月18日（木）	離山公民館	午後７時から

◎議会だより113号・114号をご持参ください。

「第113号議会だより軽井沢」の内容訂正について

前号の22ページの「全会一致の議案」に掲載いたしました、「発議第１号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出」は、23ページの「賛否の分かれた議案」に掲載すべき議案となります。（14：１で可決（反対の１名は土屋浄議員））

また、23ページの「全会一致の議案」に、「発委第２号 米軍輸送機オスプレイの飛行訓練空域から長野県東北信地域を除外することを求める意見書の提出」の記載が漏れておりました。

掲載内容の誤りと掲載漏れを深くお詫び申し上げます。

一口メモ

「発委」…委員会において委員が議事の対象となるべき問題について意見を提出することです。

ボランティア広場

町の観光スポット美化ボランティア

雲場池を美しくし隊

「美しい村軽井沢」を一緒につくりませんか

町を代表する観光スポット雲場池。雨になるとぬかるみ、観光客も窮屈そうに立ちすくむのを見て、なんとかしたいと考えていたメンバーが、社会福祉協議会の「まちづくりリーダー養成塾」を受講したのがきっかけでした。

それから町の観光経済課に維持管理の必要性を訴え活動が本格スタート。月２回の定例会では藻の除去や落ち葉片付けのほか、ゴミ拾いなどを行っています。現在、趣旨に共感した町外の方も含め14名ほどで活動しています。

「大きな水たまりもあるし、これでは歩けないよ」

3トントラック3台分の焼き砂を町と協働でぬかるみやすい箇所に投入！

現地で問題点の洗い出し
「ここは手直しが必要だね」

「訪れる方に喜んでもらえる、それが一番の楽しみ」と語る代表の中山忠夫さん、今後も楽しみを分かち合う仲間を募集しています。

29年度には大規模な浚せつ工事もひかえていますが、官民連携の新しい試みがここから始まっていくといいですね。

連絡先・問い合わせ先　中山忠夫　TEL 090－6790－5984

取材：押金洋仁

編集後記

この2年、新しい編集委員で、8回の議会だよりを届けてまいりました。毎回、盛りだくさんの内容で委員会も議論白熱、大変充実しておりましたが、紙面はいかがだったでしょうか。

新体制では、議会だよりモニター制度を導入いたします。町民の皆様の声を取り入れ、さらに分かりやすい議会広報に努めてまいります。ご愛読よろしくお願いいたします。

（篠原公子）

議　長　内堀　次雄
委員長　川島さゆり
副委員長　押金　洋仁
委　員　寺田和佳子
利根川泰三
柳澤　信介
横須賀桃子
市村　守
篠原　公子

発行／平成29年４月25日
軽井沢町議会
長野県北佐久郡軽井沢町
〒389－0192
☎0267(45)8910
編集／広報広聴常任委員会
軽井沢町議会
公式ホームページ
印刷／株式会社ダンバラ印刷
☎0267(62)0968